

検証事業(書面審査事業)
【検証結果シート】

目 次

細事業名	ページ
政策企画・立案事業	1
人事給与管理事業	2
福利厚生事業	3
広聴事業	4
住居表示事業	5
子どもの人権オンブズパーソン事業	6
水田農業総合対策事業	7
ふるさとづくり寄附金推進事業	8
地域福祉計画推進事業	9
生活困窮者自立支援事業	10
生活支援事業	11
再開発総務管理事業	12
住宅長寿命化推進事業	13
違法駐車等対策事業	14
道路・水路維持補修事業	15
道路改良管理事業	16
市内全般公園改良事業	17
公園維持管理事業	18
小学校運営事業	19
小学校備品整備事業	20
小学校図書整備事業	21
中学校運営事業	22
中学校備品整備事業	23
中学校図書整備事業	24
教育推進管理事業	25

細事業名	ページ
語学支援事業	26
生徒指導支援事業	27
課外活動教育支援事業	28
外国語教育推進事業	29
学校人権教育推進事業	30
小学校教育用ICT機器等管理事業	31
中学校教育用ICT機器等管理事業	32
特別支援学校教育用ICT機器等管理事業	33
教育支援センター運営事業	34
適応教室運営事業	35
小学校教科書・副読本整備事業	36
中学校教科書・副読本整備事業	37
特別支援学校教育支援事業	38
成人式典実施事業	39
地域保育園支援事業	40
私立幼稚園就園奨励費補助事業	41
市立保育所運営事業	42
民間保育所運営支援事業	43
市立認定こども園運営事業	44
民間認定こども園運営支援事業	45
学校ボランティア支援事業	46
青少年地域活動支援事業	47
子ども・若者総合支援事業	48
家庭児童相談事業	49
選挙啓発事業	50

< 検証結果シート >

事業名： 政策企画・立案事業

担当課： 企画財政課・政策創造課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自治体運営を円滑に進めていくため、まちづくりの目標を明確にし、その実現に向けての実行体制の確立が重要であると考える。 調整を担うだけでなく、各部局の政策の方向性を合わせて、市政運営を推進していく担当部局としてどうあるべきか、ゼロベースで検討する必要がある。 ・産官学との連携については、これからの行政運営において大切な取組みであるが、連携が目的であってはならない。今後の連携においては、目的を明確化し、行政サービスの向上等の成果につなげていくことが重要である。 また、民間事業者や広域的な自治体との連携については、より具体的な取組みを進める必要がある。 なお、過去に協定を結んだものの、時代の変化に伴い成果につながっていない連携があれば、見直しも必要と考える。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 人事給与管理事業

担当課：

職員課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の最大の目的は、適材適所の職員配置である。そのためには、職員の能力を自己評価や上司による評価等により定量化する必要がある。 その際、職員研修事業との適切な連携にも留意すること。 ・ 職員採用にあたっては、新卒採用や中途採用を問わず、当市が必要とする能力を明確にし、その能力を持った人材を採用できるような工夫が必要である。 ・ 本事業の成果を図るための指標について、検討することも重要である。 ・ 今後、新たな労務管理体制のあり方が問われることになる。指定管理者制度を導入した市立川西病院に限らず、将来を見据えて常に検討を行っていく必要がある。
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 福利厚生事業

担当課：

職員課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 過重労働は職員の心身に大きな影響を与えることになる。働き方改革を進めるためには、時間外勤務による長時間労働を適切に把握し、過重労働になっている職員数を成果指標として設定する必要がある。 その結果を踏まえて、職員数や業務内容の改善等につなげていくことが重要である。 ・ メンタルヘルス不調による休職者が一定数いるとのことである。不調の発症は様々な背景があるが、近年、企業・健康保険組合・行政・医師等が協力した健康経営が推進され、0次予防をめざして健康診断分析と保健指導の精度を高める動向が強くなっている。 発症しないように、職員の健康管理への意識を高める仕組みの検討が必要である。 ・ ハラスメントについては、自分自身の言動を振り返る等の防止策は大切であるが、ハラスメントを受けた職員の有無を把握することがより重要である。アンケート結果を参考にして、取組内容を検討するべきである。 ・ 職員向けの福利厚生として職員互助会があるが、費用対効果の高い制度となっているか確認し、社会環境の変化とともに、福利厚生の内容は改善していく必要がある。 また、内容を見直していく上で、公費負担割合と職員の掛金割合について、他市町と比較し、妥当性を確認すること。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 広聴事業

担当課： 生活相談課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市民の利便性の向上を図るために、デジタルインフォメーションやチャットボット等、AIの導入について、検討する必要がある。 ・チャットボットなどAIの導入にあたっては、初期費用は掛かるものの、24時間対応が可能となる。導入している先進市（神戸市、尼崎市など）や民間事例を研究し、導入効果を調査することが重要である。 ・今後の広聴は意見や提案を「もらう」だけでなく、SNS等のインターネット上に書き込まれている情報を「拾う、汲み取る」ことが重要であり、情報を収集、分析する仕組みづくりやツールの活用について検討する必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 住居表示事業

担当課：

市民課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・住居表示台帳の電算化の導入による業務改善効果やコスト比較等の現状分析を行う必要がある。 ・電算化を行うにあたり、費用対効果がどれほど見込めるかが重要である。例えば、「効果」が「職員の作業時間の短縮」であれば、削減できる作業時間や人件費とシステム導入に係るコストを検証することなどが考えられる。 ・システム導入が可能な場合、既存システムの共有化による導入の可能性について、情報担当部局と連携し、検証することも重要である。
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 子どもの人権オンブズパーソン事業 担当課： 人権推進課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・多様な方法で相談を受付できる方法が重要であるため、電話やインターネットによる受付に加え、LINE等のツールの導入を検討する必要がある。その際、他市の事例を研究すること。 ・相談者からの受付については、相談しやすい時間や曜日のニーズを把握した上で、利用しやすい体制を整えることが重要である。 ・インターネットによる相談受付を周知するために、分かりやすい文言を使用するなど、インターネットにおける検索ワードを工夫し、検索しやすい環境を構築する必要がある。
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 水田農業総合対策事業

担当課： 産業振興課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業塾の位置づけを明確にすることが重要である。「担い手の育成」を目的としているため、受講者から担い手が育成できているかを検証する必要がある。育成できていなければ、例えば、さらに高度な内容を学べる農業大学校につなげる等、実施方法を検討するべきである。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 農業再生協議会への補助金について、継続していくのであれば、運営支援という現行の手段を再検討するべきである。 ・ 耕作放棄地の解消に向けては企業へ委託する、または行政が直接、人を雇用して対応するような新しい取組みが必要だと考える。これまでと違う手法についても検討すること。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の成果を測るための指標については、生産目標面積を再設定する、または新たな目標を設定する必要がある。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： ふるさとづくり寄附金推進事業 担当課： 産業振興課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 現行のふるさと納税は、自治体間競争の場になっている。競争戦略としては、過当競争を避けることが重要である。他の自治体と同様の記念品ではなく、川西市ならではの記念品やサービスの提供が重要である。例えば、市出身著名人にテーマを設定していただき、寄附を募るなどの方法も検討してはどうか。 ・ 寄附者に体験型記念品によって、川西市を訪れてもらうことは重要な取組みである。体験型記念品に関しては、観光など他の施策との連携を検討する必要がある。 また、訪れてもらった方に川西市の魅力を聞くことも事業を展開していく上では大切である。 ・ 事業者の売上が記念品によって伸びているのであれば、産業の活性化という点ではあまり効果がないと考える。記念品の売上を除いた同社の商品の売上が伸びてこそ意味があるものと考える。 単なる特需に終わらせないように、事業者の創意工夫を促していく必要がある。 ・ 寄附者に、寄附金の用途を直接説明する機会を設けるなど、寄附への関心を高める工夫を行っていく必要がある。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 地域福祉計画推進事業

担当課： 地域福祉課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域福祉計画に限らず、計画の実行にあたっては、その取り組みの成果を確認し、PDCAサイクルが適切に回っているか、しっかり把握する必要がある。決算成果報告書を見る限り、本事業が含まれる施策の成果指標は悪化傾向にあるため、改善するべき点がある。今一度、マネジメントの強化に努めること。 ・ 避難行動要支援者支援対策については、昨年大阪府北部地震等の大きな災害を経験したことにより見えた課題を整理した上で、地域や関係機関と協力して、進めていく必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 生活困窮者自立支援事業

担当課： 地域福祉課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> 生活困窮者のうち、何人が自立につながったかということがこの事業の成果を表すものとする。事業目的に照らし合わせて適切な指標を設定し、取組みの効果を検証する必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> 出張相談等、様々な取組みを行うことは良いことである。その成果と課題をしっかりと確認し、手法の選択や内容の改善につなげることが重要である。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> 自立支援が必要な生活困窮者の掘り起こしのため、関係部署との情報共有や連携を行い、対象者の早期発見に努める必要がある。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 生活支援事業

担当課： 生活支援課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目的が、生活に困窮する世帯の「自立の助長」であることから、生活保護世帯廃止件数などの成果を指標に設定する必要がある。 ・ 職員の事務作業については、業務の洗い出し等を改めて行い、集約化や簡略化を進める必要がある。また、生活保護費支給事務等は、他市においても同一の業務を実施しているため、先進事例を研究し、効率的な事務作業を行える環境を構築することが重要である。 ・ ケースワーカーについては、社会福祉法に定められている標準人数の配置に努める必要がある。 ・ 関連する生活困窮者自立支援事業の担当課との情報共有を密に行い、生活困窮者自立支援事業の対象者が生活支援事業に移行する場合、対象者への支援が適切かつ迅速に実施できる体制を構築することが大切である。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 再開発総務管理事業

担当課： 都市政策課

外部による検証結果	方向性	方向性についてのコメント等
	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『廃止 / 休止について』</p>
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・川西能勢口駅連続立体交差事業により駅舎が西側へ移設したため、かつて駅前の中心地であった川西能勢口駅の東地区の活性化を図る必要があり、本事業にて支援を行ってきた経緯がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・しかし、駅舎移転から20年以上が経過していること及び当時から社会経済情勢や駅前周辺環境が大きく変化していることなど、本事業で支援を継続する必要があるのか疑問である。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・同地区をはじめとした駅前周辺の活性化は、引き続き行っていく必要があると思うが、どのように進めていくのかについては、庁内外の関係各所と連携し、検討する必要がある。
	事業拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の見直しについては、再開発準備組合との調整を図り、合意の上で進める必要がある。

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 住宅長寿命化推進事業

担当課： 住宅政策課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業での取組みによって、成果指標である耐震化率がどれほど向上したかを把握し、耐震化率の高い他自治体の例も参考にした上で、事業の改善につなげる必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ また、本事業は私的財産への補助であるため、どこに公共性があるのかを明確することも重要である。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 違法駐車等対策事業

担当課： 交通政策課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・事業の成果が上がっていない原因の分析を行い、課題を把握した上で、成果指標の見直しを含め、効果的な取組みを行うべきである。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・市による啓発活動と警察による取り締まりを連携して行うことが、違法駐車、迷惑駐車防止につながるため、警察と有効な対策を検討する必要がある。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・川西地域交通安全活動推進委員協議会への補助金については、事業報告や収支決算報告による年1回のモニタリングにとどまっている。そのため、補助金交付による成果の把握に努めるなど、市が注意深くモニタリングを行う必要がある。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 道路・水路維持補修事業

担当課： 道路整備課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 自然災害による被害は年々規模が大きくなってきている。被害を最小限に抑えるには、予防修繕が効果的であると考え。計画的な対策を検討する必要がある。 ・ また、平常時においても、その都度対応するのではなく、計画的な管理や対応方法を検討するべきと考える。 <p>『他事業との統廃合を含めた改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 上下水道局と土木部との連携、又は事業の統廃合を検討するべきである。
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 道路改良管理事業

担当課： 道路整備課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・費用面や各種計画との関係、地域のニーズなど、様々な要因により、道路改良の将来のニーズは変わる可能性がある。優先順位をつけるため、計画を策定する方法はあるが、状況に応じた柔軟な対応ができる手法を検討するべきと考える。 ・優先順位をつける基準については、市民等からの意見や要望の多さだけでなく、交通事故の件数など客観的なデータに基づいた設定にする必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 市内全般公園改良事業

担当課： 公園緑地課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 利用頻度や利用方法の把握を行い、それぞれの公園のあり方をまずは検討すべきである。その上で地域の実情に応じて、地域ごとに公園の利用ルールを設定するなど、市民が利用しやすい公園づくりを進める必要がある。 ・ 緑の基本計画を改定し、他の計画（川西市南部整備実施計画、公園施設長寿命化計画）との連携を図りながら、公園の整備について、改良を進めていくべきである。 ・ 従来の行政主導による公園整備から、利用者である地域住民の立場に立ち、公園の魅力や可能性を高め、民間的経営手法を取り入れた「パークマネジメント」の導入について検討する必要がある。 導入の際には、地域のための公園を地域とともに作るという視点に立ち、適した公園の選定を行い、地域住民との対話を重ねて協働で行うこと。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 公園維持管理事業

担当課： 公園緑地課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 地域によって公園の利用頻度や利用方法は異なると考えられるため、実態の把握を行い、それぞれの公園のあり方をまずは検討するべきである。例えば、利用頻度の低い公園については、維持、管理がしやすい公園への転換も考えられる。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後は、地域住民とともに公園を作るという観点から、地域住民を巻き込んで進める方法を検討することが重要である。そのためには、ボランティアやリーダーをどう育てるのか、地域住民をどう巻き込んでいくのかなどに関して、専門家の意見を聞いたり、当該分野を専攻している学生達とワーキングを行う等を検討する必要がある。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 小学校運営事業

担当課： 教育総務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国の学校施設整備指針等に基づいた整備を行っていくことは当然であるが、その結果、児童にとって良好で適切な教育環境になっているのかを把握していく必要がある。アンケート調査等の実施を検討すること。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の更新、修繕によって、経費削減や環境改善につながる可能性がある。 ・老朽化対策としての修繕を進めるにあたり、設備の更新、修繕に掛かる費用や維持管理費用など発生する費用の全てについて比較分析を行い、中長期的な観点から老朽化対策を実施することが非常に大切である。予算という制約がある中で難しいが、中長期的な視野で修繕、整備を進めること。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減の意識は十分に感じられるので、引き続き良好で適切な教育環境の提供との両立に努めることが重要である。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 小学校備品整備事業

担当課： 教育総務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品購入にあたっては、近隣自治体との共同入札、購入を実施する必要がある。近隣自治体と当市の指名競争入札参加資格者である事業者から購入する方法がある。数量に関わらず一定の事務コストが発生するので、少量多品種であったとしてもまとめて共同入札、購入を行えば経費削減は十分に見込めると考える。 ・ 備品整備による効果は、即座に数値に現れないと考えているが、児童の学習意欲が高まったこと等を教員がどう感じているかをアンケート等で把握する必要がある。どの備品がどのような効果があったということ把握しなければ、適切な備品導入はできないと考える。
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 小学校図書整備事業

担当課： 教育総務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館の果たす役割として、児童の自発的、主体的な学習活動の支援などだけではなく、児童の校内における「心の居場所」としての機能が求められるため、新たな取り組みを検討する必要がある。
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 児童の知的活動を増進し、人間形成や情操を養うことが学校図書館の役割であると考え、本事業の取組みがどのように貢献しているのか、指標を設定して把握することが重要である。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 蔵書率も重要かと思うが、貸出率や児童1人あたりの貸出数のような成果指標が望ましいと考える。これらを成果指標とすれば、図書選定や廃棄ポリシーの改善に資するのではないか。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ 今後の少子化及びコスト面、並びに開架スペースの不足を考えると、中長期的に電子ブックリーダーや共同書庫などの導入や促進を検討する必要がある。
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 中学校運営事業

担当課： 教育総務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・国の学校施設整備指針等に基づいた整備を行っていくことは当然であるが、その結果、生徒にとって良好で適切な教育環境になっているのかを把握していく必要がある。アンケート調査等の実施を検討すること。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・設備の更新、修繕によって、経費削減や環境改善につながる可能性がある。 老朽化対策としての修繕を進めるにあたり、設備の更新、修繕に掛かる費用や維持管理費用など発生する費用の全てについて比較分析を行い、中長期的な観点から老朽化対策を実施することが非常に大切である。予算という制約がある中で難しいが、中長期的な視野で修繕、整備を進めること。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・コスト削減の意識は十分に感じられるので、引き続き良好で適切な教育環境の提供との両立に努めることが重要である。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 中学校備品整備事業

担当課： 教育総務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 備品購入にあたっては、近隣自治体との共同入札、購入を実施する必要がある。近隣自治体と当市の指名競争入札参加資格者である事業者から購入する方法がある。数量に関わらず一定の事務コストが発生するので、少量多品種であったとしてもまとめて共同入札、購入を行えば経費削減は十分に見込めると考える。 ・ 備品整備による効果は、即座に数値に現れないと考えているが、生徒の学習意欲が高まったこと等を教員がどう感じているかをアンケート等で把握する必要がある。どの備品がどのような効果があったということ把握しなければ、適切な備品導入はできないと考える。
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 中学校図書整備事業

担当課： 教育総務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 学校図書館の果たす役割として、生徒の自発的、主体的な学習活動の支援などだけではなく、生徒の校内における「心の居場所」としての機能が求められるため、新たな取り組みを検討する必要がある。 ・ 生徒の知的活動を増進し、人間形成や情操を養うことが学校図書館の役割であると考えますが、本事業の取組みがどのように貢献しているのか、指標を設定して把握することが重要である。 ・ 小学校図書整備事業と同様に、貸出率や生徒1人あたりの貸出数のような成果指標が望ましいと考える。これらを成果指標とすれば、図書選定や廃棄ポリシーの改善に資するのではないかと。 ・ 今後の少子化及びコスト面、並びに開架スペースの不足を考えると、中長期的に電子ブックリーダーや共同書庫などの導入や促進を検討する必要がある。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 教育推進管理事業

担当課：

学務課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業は、児童生徒の情報管理等を行う内部管理事業であり、業務の効率化と経費削減の効果が表れやすい事業であると考えられる。現行では、業務によってシステムが異なっているものがあるため、システムを一本化することにより業務効率化を図るべきである（学齢簿システムと就学支援事務の統合など）。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 定型的な業務が多い状況であれば、人工知能等を活用した業務効率化・自動化の仕組み（RPA）を導入したり、AIを活用することも検討するべきである。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 語学支援事業

担当課： 学校教育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国人児童生徒等への通訳派遣について、あらゆる言語に対応することは困難であるため、支援を必要とする児童生徒等の保護者等が互いに助け合うことができるような仕組みづくりを進めるべきである。 ・日常会話の中で必要な支援と、学校教育の中で必要な支援は異なると考える。学校教育の様々な教科において補助教材等を使用する、作成する等、120時間では包括できない部分を支える仕組みや、他の事業担当課との連携が必要である。 ・また、福祉的な面からの支援はコミュニティで支える方が語学の覚えも早く、日本の文化とともに学ぶことができる。学生ボランティアや多文化コミュニティによる学習支援を検討してはどうか。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 生徒指導支援事業

担当課： 学校教育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業については、成果指標が明確に示されていない。不登校の児童生徒数など適切な成果指標を設定した上で、本事業での取組みが成果指標にどれだけ影響したかということ把握して、事業の改善に取り組んでいく必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ いじめを受けている、行っている等、本事業の対象となる児童生徒の転入出にあたっては、必要な情報が適切に引き継がれるよう十分に関係自治体、機関と調整する必要がある。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 課外活動教育支援事業

担当課： 学校教育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本事業においては、ICT部活動支援や外部コーチなどの活用によって、生徒の課外活動がより充実したものとなることが重要であるという視点に立ち、事業運営を行っていく必要がある。
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・本年度から導入したICT部活動支援については、それによって生徒の課外活動がどれだけ充実したものになったかという成果を、把握・検証した上で方針や手法を決定していく必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・部活動における外部コーチや部活動指導員の活用、ICTを活用した部活動指導について、中学校教員の働き方改革という観点からも、非常に意義があると考えます。現時点ではモデル的に一部の部活動でしか実施できていないが、生徒数が多い部活動から導入を進める、ICT部活動支援を活用するなど、効率的な導入を進めることが重要である。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・また、持続可能な部活動運営のためには、学校、保護者、地域に限らず、様々な関係者が連携することが重要である。具体的な役割分担の明確化など、連携構築に取り組む必要がある。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 外国語教育推進事業

担当課： 学校教育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 児童生徒が日常的に外国人と接する機会が多くはないという本市の現状を踏まえ、ネイティブの外国語指導助手（ALT）をより多く活用することが望ましいと考える。 ・ ALTの配置に係る成果指標については、全国学力学習状況調査などの客観的な数値を用いて検証を行う必要がある。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 学校人権教育推進事業

担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・人権研修による人権意識の向上の成果を、アンケート結果により把握するのであれば、そのアンケートの内容が重要である。現状把握に加え、課題等も把握できるアンケートを実施して、PDCAサイクルを回せる仕組みの構築が必要である。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・教職員への人権研修についても、PDCAサイクルを回す仕組みの構築を検討すること。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 小学校教育用ICT機器等管理事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目的が、「学校ホームページによる『開かれた学校』づくりの推進」である点に違和感を覚える。事業の目的と内容の整合性を図るべきである。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場におけるICTの活用は重要である。児童が授業を理解しやすくなることと児童の情報活用能力の育成に向け、成果を確認しながら改善を続ける必要がある。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器の使用が、児童の情報活用能力向上に貢献していることについて、指標を設定し、測定・検証する必要がある。
	事業拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレットPCを使用して教育的効果を上げる方法について研究を続けることも重要である。

< 検証結果シート >

事業名： 中学校教育用ICT機器等管理事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目的が、「学校ホームページによる『開かれた学校』づくりの推進」である点に違和感を覚える。事業の目的と内容の整合性を図るべきである。
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 教育現場におけるICTの活用は重要である。生徒が授業を理解しやすくなることと生徒の情報活用能力の育成に向け、成果を確認しながら改善を続ける必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ ICT機器の使用が、生徒の情報活用能力向上に貢献していることを、何らかの指標を設定し、測定・検証する必要がある。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・ タブレット端末、デスクトップ端末のそれぞれの長所や習得させるべき能力の違いを意識し、目的に応じた使い分けを行うことが重要である。 例えば、中学生においては、タイピング能力の習得も重要であり、タッチパネルだけではなく、キーボードに慣れさせる必要がある。
	事業拡充	<ul style="list-style-type: none"> ・ 情報活用能力にとどまらず、生徒の多様な能力向上を視野にいれて、ICT機器を活用した授業づくりを行うこと。

< 検証結果シート >

事業名： 特別支援学校教育用ICT機器等管理事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目的が、「学校ホームページによる『開かれた学校』づくりの推進」である点に違和感を覚える。事業の目的と内容の整合性を図るべきである。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 特別支援学校においては、ICT機器の活用により、児童生徒の経験や学びの幅が大きく広がる可能性もあることから極めて重要な事業であると考え。引き続き、研究を進めるとともに、できる限りその効果を検証するように努めること。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 教育支援センター運営事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <p>・教育支援センターは川西能勢口駅前の商業ビルに位置しており、年間総額約2,700万円の賃料が必要となっている。賃料の削減を図る観点からも、既存の公共施設を有効活用するなど設置場所について検討が必要である。その際には、利用者の利便性と費用対効果を検証すること。</p>
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 適応教室運営事業

担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法・内容の改善について』 『事業拡充について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 適応教室のような施設があることは極めて重要である。 ・ 事業の改善や工夫を行う際には、単に他市の取り組みを調査し取り入れるだけでなく、それらを学ぶ際に、「なぜうまくいっているのか」について可能な限り深く分析する必要がある。その結果を踏まえて本市としての活かし方を考えていくことが、非常に重要である。 ・ 教育支援センターの業務を再検証し、効率化を図ったうえで生じた余剰人員や財源を活用し、適応教室の開館時間の延長について検討するべきである。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 小学校教科書・副読本整備事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副読本に掲載されている内容の全てを授業で扱うことは難しいと思われるため、内容を絞るか、児童が家庭で自主的に読んで学び易い内容にするなどの工夫を検討する必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本については、製本するのではなく、WEB版とすることを検討してはどうか。その時点での最新の情報を反映でき、コスト削減にもつながるものとする。 ・WEB公開について、それほど大きなコストがかからないと思うので、前向きに検討すること。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 中学校教科書・副読本整備事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法・内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・副読本に掲載されている内容の全てを授業で扱うことは難しいと思われるため、内容を絞るか、生徒が家庭で自主的に読んで学び易い内容にするなどの工夫を検討する必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・副読本については、製本するのではなく、WEB版とすることを検討してはどうか。その時点での最新の情報を反映でき、コスト削減にもつながるものとする。 ・WEB公開について、それほど大きなコストがかからないと思うので、前向きに検討すること。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 特別支援学校教育支援事業 担当課： 教育支援センター

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法・内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・理学療法士の常駐化については、コスト及びメリット、並びに児童生徒の状態を総合的に勘案し検討する必要がある。 ・福祉分野の専門職の配置については、国や県へ要望を行っていくことが重要である。 ・近隣自治体と連携して、看護師の雇用や通学に係る介護タクシーの運用を検討してはどうか。
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 成人式典実施事業

担当課： こども支援課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	『手法、内容の改善について』
	委託化を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・極めて困難なことであると思うが、成人式典の成果を把握することが大切であるとする。成人式典を実施した結果、どうなったかということを検証していく必要がある。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・また、今後の成人式典のあり方を検討する際に、行政で実施することにとらわれず、民間企業等との連携や猪名川町等、近隣自治体との共同開催等、様々な視点から検討することが重要である。
	現行どおり継続	<ul style="list-style-type: none"> ・民法改正による成人年齢の引き下げといった短期的な課題と、人口減少による中長期的な課題の明確化も含め、成人式典のあり方をゼロベースから、今後も引き続き検討すること。
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 地域保育園支援事業

担当課： 幼児教育保育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <p>・地域保育園の必要性について、検討する必要があると考える。特色ある地域保育園としてではなく、待機児童の受け皿としての役割を期待しているのであれば、待機児童の解消につながるように、認可保育園への移行を含めて事業者と協議を行う必要がある。</p>
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 私立幼稚園就園奨励費補助事業 担当課： 幼児教育保育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『廃止 / 休止について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 令和元年10月に幼児教育無償化が始まったことから、私立幼稚園就園奨励費補助金については、決算成果報告書に記載のとおり9月限りでの廃止に向けて進める必要がある。 ・ また、認可外幼稚園等就園奨励費についても、今回の無償化を機に、趣旨、目的、効果などを再度検証し、補助制度のあり方について廃止を前提に検討してはどうか。 本制度の目的は経済的負担の軽減を図るためであるが、所得状況の確認を行っていないのであれば、所得制限等の基準を設定すべきである。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 市立保育所運営事業

担当課： 幼児教育保育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法・内容の改善について』</p> <p>・子ども・子育て計画を踏まえた上で、市としての役割を明確にする必要がある。</p> <p>病児保育や病後児保育、障がい児保育については、行政によってカバーされるべきだと考える。現在は、川西能勢口駅付近に立地しているが、地域ごとのニーズを調査し、今後の配置について継続的に検討してはどうか。</p>
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 民間保育所運営支援事業

担当課： 幼児教育保育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『事業拡充について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 待機児童対策が最重要課題である。解消に向け、供給量の拡大を図る必要がある。 ・ 市単独の補助制度については、市民ニーズや民間保育施設の現状を踏まえ、引き続き、費用対効果の検証を行うことが重要である。 ・ 待機児童解消に向け、供給量の拡大に取り組んでいるが、解消には至っていないのが現状である。民間保育施設の整備が思うように進まない原因を分析し、施策や市の補助制度を検討する必要がある。 ・ 少子化に伴う将来の児童数の減少に備えて、現時点でどのような事業の手法が望ましいのか、検討すること。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

< 検証結果シート >

事業名： 市立認定こども園運営事業

担当課： 幼児教育保育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <p>・ 認定こども園の安定した運営や質の向上を図るためには、関わる職員の事務量削減も重要であると考えます。幼児教育保育の無償化により、入所選考に係る事務量はさらに増えることが予想される。事務作業を効率化する方法として、AIの導入を検討する必要があります。</p>
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 民間認定こども園運営支援事業 担当課： 幼児教育保育課

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『現行どおり継続について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・待機児童対策が最重要課題である。解消に向け、多様なニーズに応じた供給量の拡大を図る必要がある。 ・市単独の補助制度については、市民ニーズや民間保育施設の現状を踏まえ、引き続き、費用対効果の検証を行うことが重要である。 ・待機児童解消に向け、供給量の拡大に取り組んでいるが、解消には至っていないのが現状である。民間保育施設の整備が思うように進まない原因を分析し、施策や市の補助制度を検討する必要がある。 ・少子化に伴う将来の児童数の減少に備えて、現時点でどのような事業の手法が望ましいのか、検討すること。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 学校ボランティア支援事業

担当課： こども・若者ステーション

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 高齢化や共働き世帯の増加などにより、学校安全協力員の人員確保が困難となっている。そのような状況を踏まえ、散歩やジョギング、買い物等をしながら、子どもの安全を見守る「ながら見守り」の導入や、学校と協力した人員確保の協力体制の構築など、各地域の状況に応じた検討が必要である。
	他事業との統廃合を含めた改善	<ul style="list-style-type: none"> ・ 学校安全協力員の把握した情報を迅速に関係部署や関係機関に伝え、登下校の安全安心を確保することが大切である。そのため、定例会議での意見の把握だけではなく、随時、情報を把握する体制構築を検討することが重要である。
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 青少年地域活動支援事業

担当課： こども・若者ステーション

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子ども会、ボーイ・ガールスカウト及びリーダー隊等の活動を否定するものではないが、青少年が「健全である」状態を具体的にイメージした際に、それら団体への補助が、青少年の健全育成にどれだけ貢献しているのかを再検討していく必要がある。 ・また、「各種団体への加入 = 健全育成」というわけではないので、団体の加入者数は、直ちに成果には直結するとは言えない。団体のどのような活動が健全育成につながったのかが重要である。 ・本事業の成果指標の設定は非常に難しいが、成果の測定をあきらめるのではなく、何が成果なのかを考え、見極めていく姿勢が重要である。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 子ども・若者総合支援事業

担当課： こども・若者ステーション

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業においては様々な要素が複雑に絡んだケースもあるため、他事業や他部署との連携体制を日頃から構築しておくことが非常に大切である。 ・ また、相談者へのフォローアップの仕組みや体制づくりについて、検討する必要がある。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 家庭児童相談事業

担当課： こども・若者ステーション

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・市内への転入、市外への転出があった場合には、書面だけではなく、聞き取り等のあらゆる手段を用いて、児童虐待に関する情報が適切に引き継がれるようにする必要がある。 ・県の児童相談所である「兵庫県こども家庭センター」と市の虐待相談対応窓口である「こども・若者ステーション」が同じ施設にあり、連携を密にできることは強みである。このような強みを活かしつつ、関係機関や地域団体等と連携して解決にあたることが重要である。 ・また、職員間で情報共有を行い、一人でケースを抱え込むこと等がないようにすることが大切である。
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	

＜ 検証結果シート ＞

事業名： 選挙啓発事業

担当課： 選挙管理委員会事務局

	方向性	方向性についてのコメント等
外部による検証結果	廃止 / 休止	<p>『手法、内容の改善について』</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 本事業の目標は「投票率の向上」であるため、投票率を成果指標とし、本事業の取組みが投票率の向上にどれだけ貢献したかということ把握しなければならない。例えば、啓発活動の実施後に、実際に選挙に行ったかを確認する等、取組みの有効性を確認する方法を検討することが重要である。 ・ 投票率が特に低い若年世代をターゲットに設定するなど、効率的に啓発活動を行っていく必要がある。すでにそれに向けた取組みを始めているが、若者に興味を持ってもらえるようなテーマや手法を検討しなければならない。また、成人式典等、若年世代が集まる機会をうまく活用することも検討するべきである。 ・ 投票率を向上させるため、多くの人が集まる商業施設等での期日前投票所の設置を検討する必要がある。 ・ 投票行動を喚起するためのコンテンツと戦略について、専門家の導入を検討すること。
	一部事業の廃止 / 休止	
	手法、内容の改善	
	委託化を含めた改善	
	他事業との統廃合を含めた改善	
	現行どおり継続	
	事業拡充	